

旧地理 B

(解答番号 ~)

第1問 高校生のミホさんは、世界の都市における自然環境・自然災害について探究した。この探究に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 ミホさんは、都市が分布する平野について調べた。次の図1は、世界のいくつかの都市が立地する平野を、平野の特徴により分類して示したものである。また、後の文ア～ウは、図1中の凡例 a～c のいずれかにおける平野の形成過程を説明したものである。a～c とア～ウとの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。



図 1

- ア 最終氷期に氷河による侵食作用を受けた平野である。
- イ 地震や火山活動が活発な地域で、堆積作用により形成された平野である。
- ウ 地殻変動が活発でない地域で、堆積作用により形成された平野である。

	①	②	③	④	⑤	⑥
a	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
b	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
c	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 ミホさんは、都市が立地する沖積平野の形成には河川による土砂の運搬量が関係していると考えた。次の図 2 は、世界のいくつかの河川の流域と主な河道を示したものである。また、後の表 1 は、図 2 に示した河川の土砂運搬量*と河口付近の流量を示したものであり、①～④は、アマゾン川、インダス川、ガンジス・ブラマプトラ川、ミシシッピ川のいずれかである。ミシシッピ川に該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 2

*河川が運ぶ土砂の量。

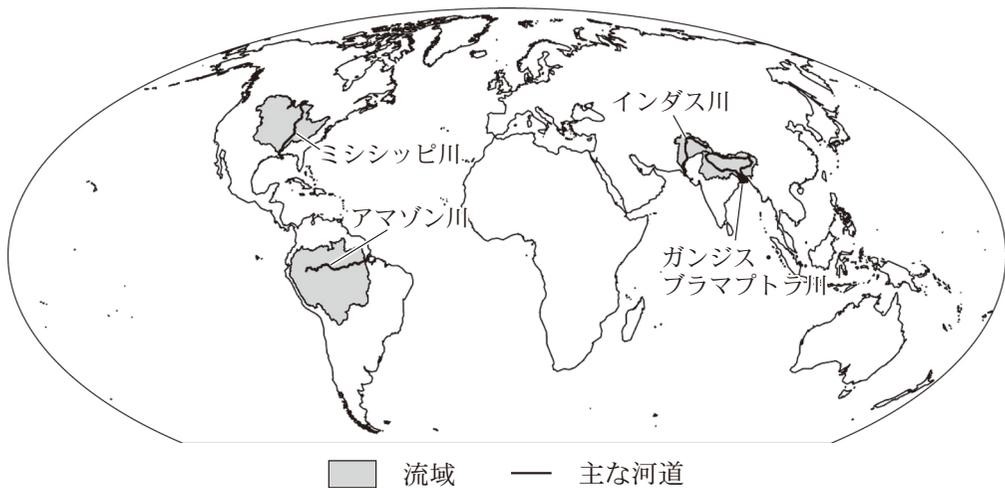


図 2

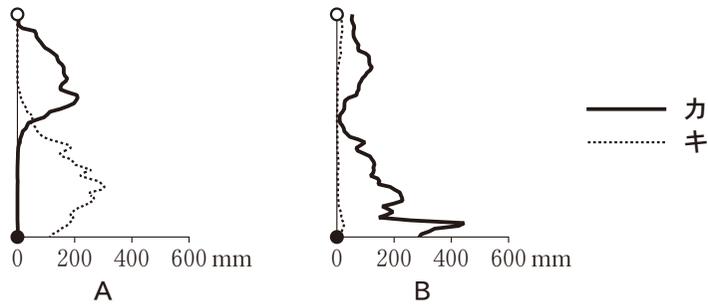
表 1

	土砂運搬量 (百万トン/年)	河口付近の流量 (千 m ³ /秒)
①	1200	200.0
②	1060	30.9
③	400	18.4
④	250	5.5

土砂運搬量の値はダム建設前の値。
堀・斎藤(2003)などにより作成。

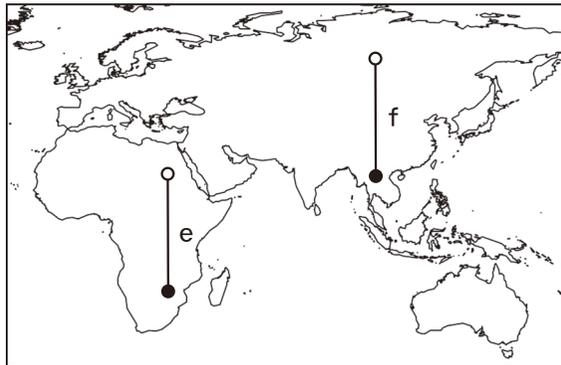
旧地理 B

問 3 ミホさんは、水資源が都市での生活に重要であると考え、世界の降水量分布について調べた。次の図 3 中の A と B は、後の図 4 中の線 e と f のいずれかに沿った月降水量分布を示したものである。また、図 3 中の凡例カとキは、1 月と 7 月のいずれかである。線 e と 1 月との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 3



NOAA の資料により作成。

図 3

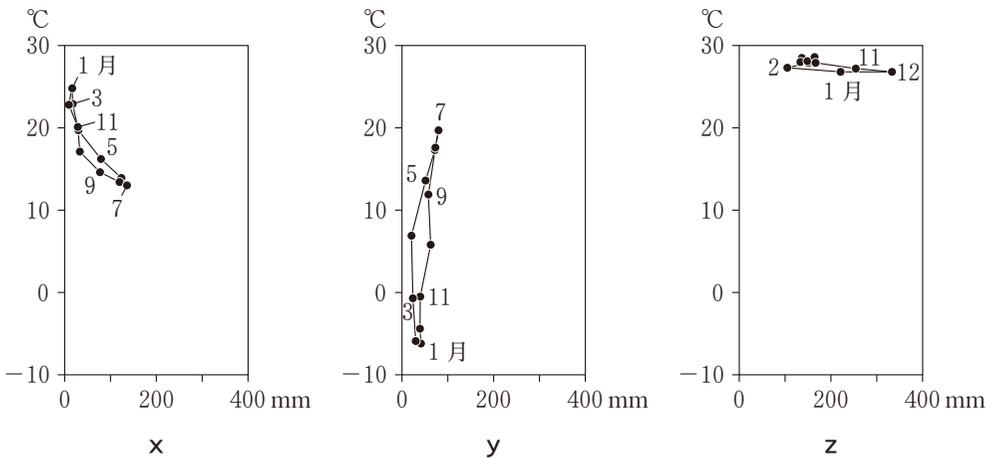


線 e と f の実距離は等しい。

図 4

	①	②	③	④
線 e	A	A	B	B
1 月	カ	キ	カ	キ

問 4 ミホさんは、世界の都市が属する気候帯とその特徴について調べた。次の図5中のx～zは、いくつかの都市における月平均気温と月降水量をハイサーグラフで示したものであり、後の文サ～スは、x～zのいずれかの気候帯でみられる土壌や植生について説明したものである。x～zとサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 4



『理科年表』により作成。

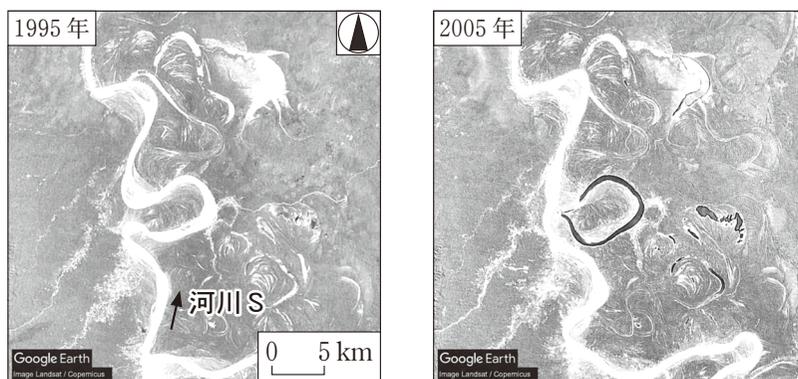
図 5

- サ 酸化された鉄やアルミニウムなどが表層に多いやせた土壌に、多種類の常緑樹やツル性植物が繁茂する。
- シ 酸性の水分が鉄分や養分を溶かし出してできた灰白色のやせた土壌に、落葉広葉樹と針葉樹の混合林が広がる。
- ス 赤黄色や栗色の土壌に、夏の乾燥に耐える樹種や硬葉樹林が広がる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
x	サ	サ	シ	シ	ス	ス
y	シ	ス	サ	ス	サ	シ
z	ス	シ	ス	サ	シ	サ

旧地理B

問 5 自然災害には地形が関係していると学んだミホさんは、過去の衛星画像や地形図を用い、低地における地形の変化を観察した。次の図6は、アマゾン川上流のある地域を1995年と2005年に撮影した衛星画像である。また、後の図7は、日本のある地域の1918年と1975年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。図6と図7に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 5



矢印は河川Sの流下方向を示す。Google Earthにより作成。

図 6

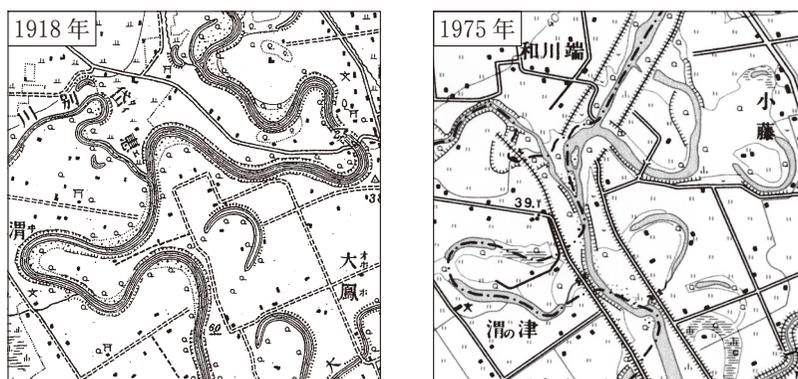


図 7

図6と図7では、河川の流路が大きく変化している様子がみられる。図6と図7にみられる湖沼は、①河川の本流から切り離されたことにより形成された。

図6に示された範囲では、かつて河川が流れた^{こんせき}痕跡の分布や、本流と支流の流路から判断して、②河川Sの左岸側の方が、右岸側よりも標高が低い傾向にあると考えられる。

図7では、1918年に蛇行していた河川は、1975年までに人工的に直線化されたことがわかる。これは、③河川の流れをスムーズにし、氾濫を防ぐ目的があると考えられる。一方で、河川の跡地では、河川の氾濫時に④周囲より長時間浸水するリスクが高いと考えられる。

旧地理 B

問 6 ミホさんは、自然災害による被害の大きさを概念的な式で表す試みがあることを知り、その内容を次の資料 1 にまとめた。資料 1 に関することがらについてミホさんと先生が話し合った会話文中の下線部①～⑤のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 6

資料 1

$$R = H \times E \times V$$

ただし、

R (Disaster risk) : 自然災害により人や資産が受ける被害の大きさ。

H (Hazard) : 自然災害の原因となる自然現象。危険源。

E (Exposure) : 自然災害発生時に危険にさらされる可能性のある人や資産。
曝露。

V (Vulnerability) : 身体的、社会的、経済的、環境的要因による、自然現象の悪影響の受けやすさ。脆弱性。

自然災害による被害の大きさは、様々な要素によって決まる。例えば、洪水による被害の大きさは、次のように考えることができる。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{洪水による} \\ \hline \text{被害の大きさ (R)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{記録的大雨など} \\ \hline \text{(H)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{後背湿地における} \\ \hline \text{人口など (E)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{高齢化など} \\ \hline \text{(V)} \\ \hline \end{array}$$

伊藤ほか (2017) などにより作成。

- 先生 「自然災害による被害の大きさは、 H と E と V の積で表されています。地震災害を例に、被害を軽減する方法を考えてみましょう」
- ミホ 「①地震は、発生の時期や頻度、規模を人為的にコントロールできないので、 H を小さくすることができません」
- 先生 「 E や V についてはどうですか」
- ミホ 「例えば、都市において②活断層の近くにある集客施設を、活断層から離れた場所に移転することにより、 E を小さくできると思います」
- 先生 「身近な行動で E を小さくする方法はありますか」
- ミホ 「例えば、海溝付近で発生する地震に備えて、③学校から最も近い海溝の位置を調べることで、 E を小さくできると思います」
- 先生 「 V を小さくする方法にはどのようなものがありますか」
- ミホ 「建物が立地する場所の④地盤の性質を知り、適切な耐震補強をすることで、 V を小さくできると思います」
- 先生 「ミホさん自身の行動で、 V を小さくする方法はありますか」
- ミホ 「⑤地域の防災訓練に参加することで、 V を小さくできると思います」
- 先生 「自然災害による被害を軽減する方法は、自然災害の種類によっても異なりますね。ほかの自然災害の場合についても考えてみましょう」

旧地理 B

第 2 問 資源と産業に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の表 1 は、デンマーク、ニュージーランド、ノルウェーにおけるエネルギー源別の発電量を示したものであり、ア～ウは、水力、地熱、風力のいずれかである。エネルギー源名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

表 1

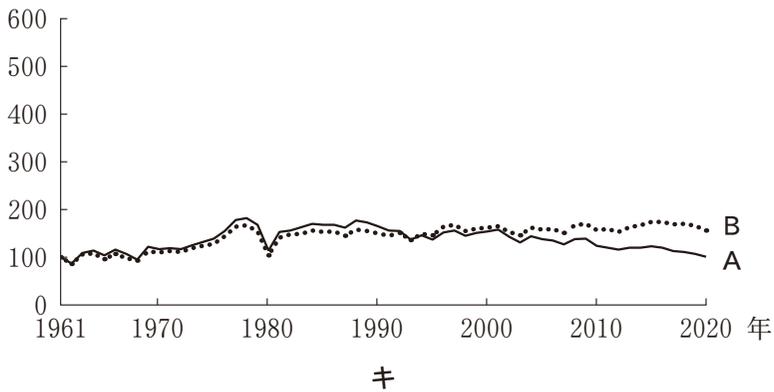
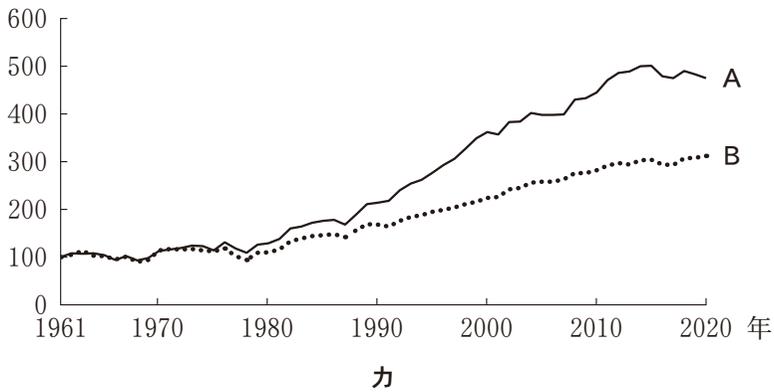
(単位：ギガワット時)

	デンマーク	ニュージーランド	ノルウェー
ア	16,054	2,642	11,769
火 力	15,664	8,184	1,296
太陽光	1,309	203	175
イ	16	24,221	144,339
ウ	0	8,367	0
その他	0	58	383

統計年次は 2021 年。IEA の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
水 力	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
地 熱	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
風 力	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 次の図1は、韓国とベトナムにおける、1961年から2020年にかけての米の生産量と単位面積当たりの収穫量の変化を、1961年を100とした指数で示したものである。図1中の力とキは韓国とベトナムのいずれか、AとBは生産量と単位面積当たりの収穫量のいずれかである。ベトナムと生産量との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 8



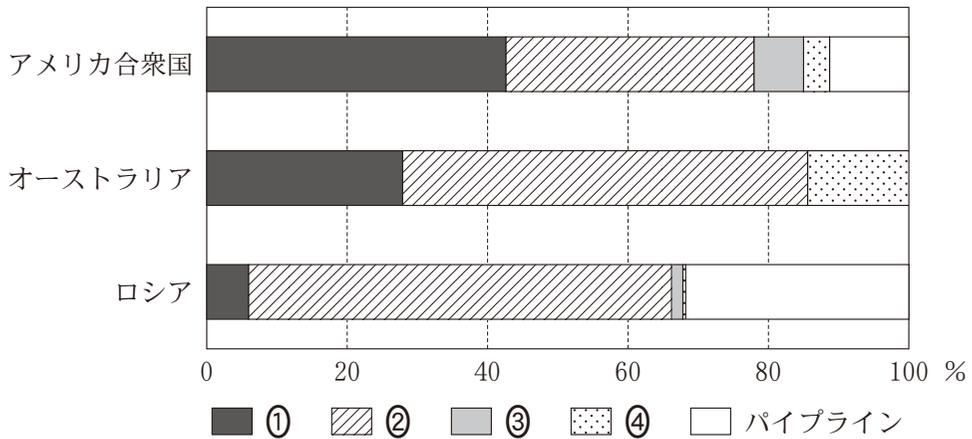
FAOSTATにより作成。

図 1

	①	②	③	④
ベトナム	力	力	キ	キ
生産量	A	B	A	B

旧地理 B

- 問 3 次の図 2 は、広大な国土をもつアメリカ合衆国、オーストラリア、ロシアについて、国内貨物の陸上と水上における輸送手段別の分担率*を示したものである。図 2 中の凡例①～④は、海運、内陸水運、鉄道、道路のいずれかである。海運に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 9
- *貨物のトン数に輸送した距離を乗じた値の構成比。



統計年次は 2017 年。ITF Transport Statistics により作成。

図 2

- 問 4 次の写真 1 中のサ～セは、日本の近代から現代にかけての、林地から丸太を運搬するための代表的な手段を撮影したものである。写真 1 中のサ～セを説明した文章として下線部が適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

10



サ



シ



ス



セ

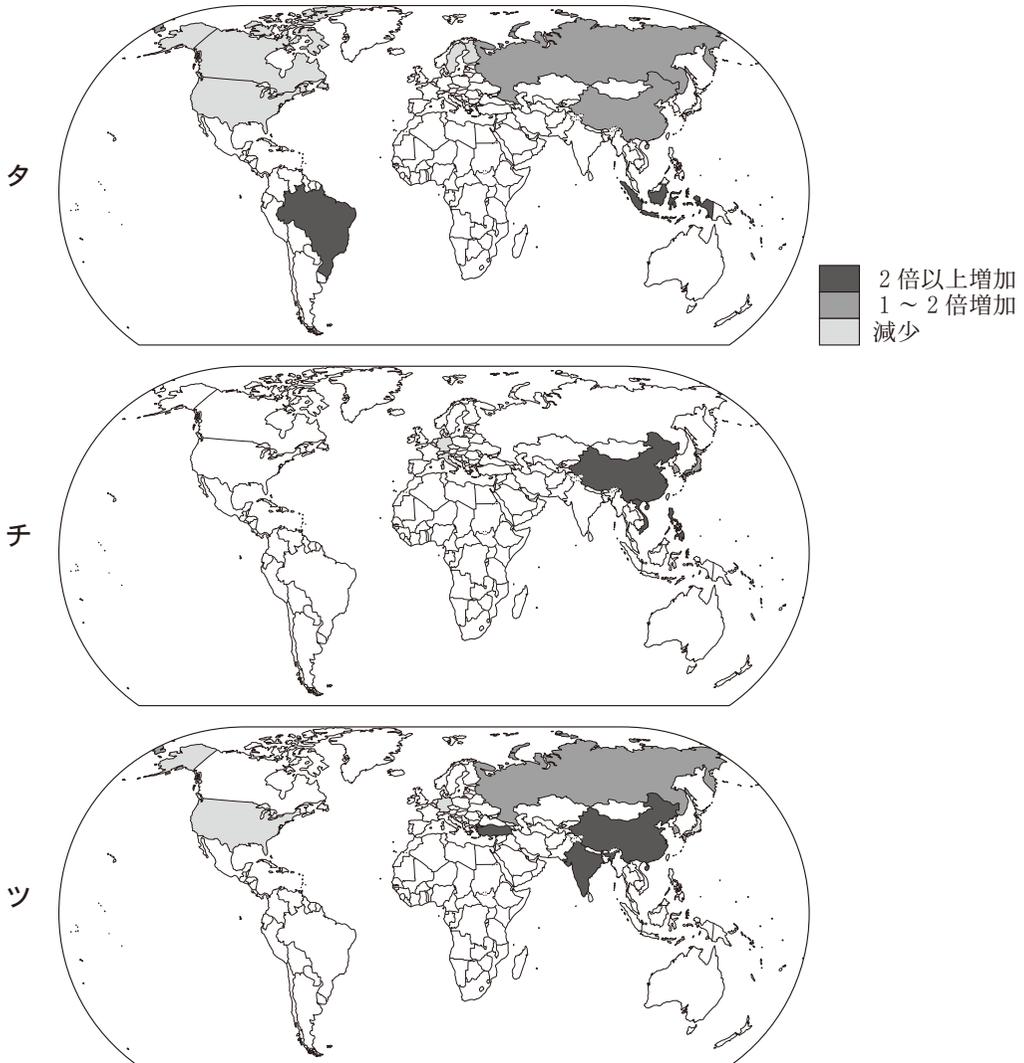
写真 1

- ① サは、近代以前に広くみられた、丸太をいかだ筏に組んで河川を利用して運ぶ様子である。当時、林地から丸太を搬出できるかどうかは、地形や気候などの自然条件に大きく制約されていた。
- ② シは、19世紀末以降に普及した森林鉄道を利用して丸太を運ぶ様子である。これにより、従来よりも効率的に丸太を運搬することが可能になった。
- ③ スは、トラックを利用して丸太を運ぶ様子である。鉄道よりも機動的に運搬することが可能となり、全国の林地から集めた丸太を製材する工場が、大都市へ集中するようになった。
- ④ セは、外洋船を利用して丸太を運ぶ様子である。丸太の輸入規制の撤廃や、国内での木材生産コストの上昇を受けて、外国産の木材が国内で大量に流通するようになった。

旧地理 B

問 5 次の図 3 は、いくつかの工業製品の生産量について、2020 年における世界の上位 8 国・地域の、2000 年から 2020 年にかけての増減を示したものである。図 3 中のタ～ツは、製紙用パルプ、船舶*、粗鋼のいずれかである。項目名とタ～ツとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

*100 総トン以上の鋼船。



中国の数値には台湾，ホンコン，マカオを含まない。
World Steel Association の資料などにより作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
製紙用パルプ	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
船 舶	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
粗 鋼	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

問 6 グローバル化が進んだ現在の世界経済においては、国際的な金融取引の重要性が増している。次の表 2 は、外国為替取引でのいくつかの通貨について、2010 年と 2022 年の世界の取引額に占める割合を示したものである。表 2 中のマ～ムは日本の円、韓国のウォン、中国の人民元のいずれか、D と E は 2010 年と 2022 年のいずれかである。中国の人民元と 2022 年との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

表 2

(単位：%)

	D	E
アメリカ合衆国のドル	44.3	42.5
EU のユーロ	15.3	19.5
マ	8.4	9.5
ミ	3.5	0.5
ム	1.0	0.8

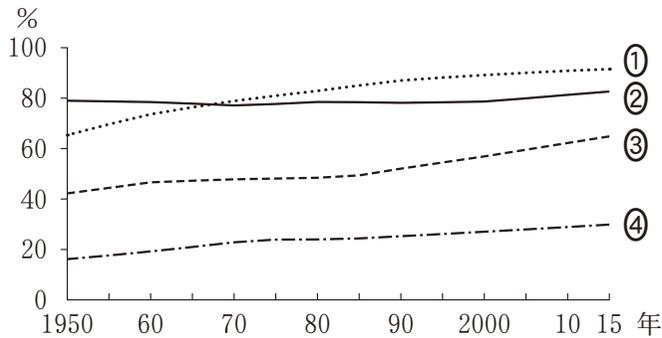
Bank for International Settlements の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
中国の人民元	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
2022 年	D	E	D	E	D	E

旧地理 B

第 3 問 人口と村落・都市に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の図 1 は、いくつかの国における 1950 年から 2015 年にかけての都市人口率の変化を示したものであり、①～④は、アルゼンチン、イギリス、南アフリカ共和国、ミャンマーのいずれかである。南アフリカ共和国に該当するものを、図 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 13



World Urbanization Prospects により作成。

図 1

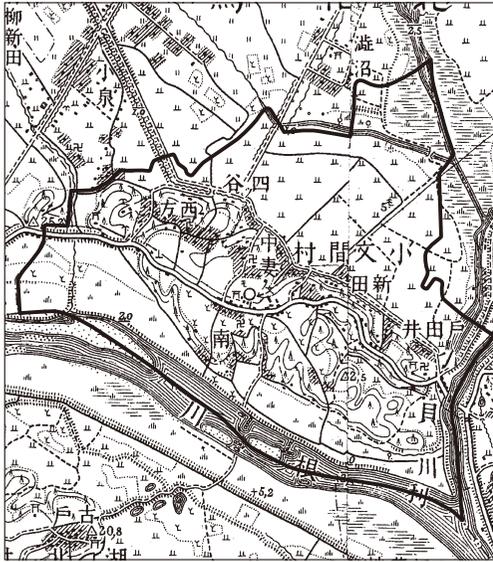
問 2 かつての日本では、多くの小規模な町村が存在した。次の表 1 は、1920 年のいくつかの町村における産業別の就業者割合を示したものである。また、後の図 2 中の①～④は、表 1 中のア～エのいずれかの町村における 1920～1930 年代発行の 5 万分の 1 地形図(95%に縮小、一部改変)である。ウに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 14

表 1

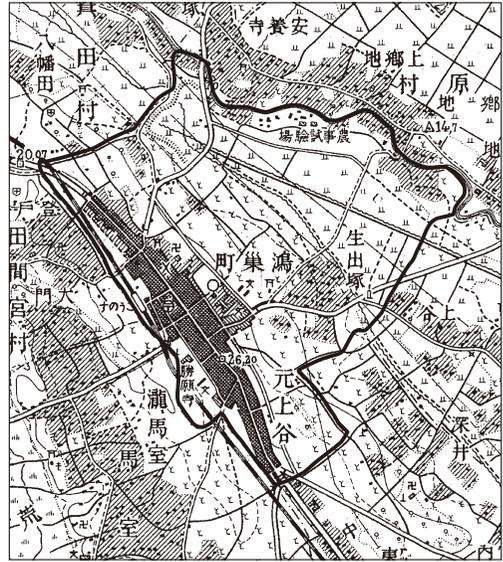
(単位：%)

	農 業	水産業	工 業	商 業	交通業	その他
ア	62.0	0.6	16.8	9.6	5.1	5.9
イ	51.1	33.1	6.4	2.6	0.8	6.0
ウ	17.1	0.1	28.9	34.4	5.9	13.6
エ	2.7	0.0	62.2	19.0	7.9	8.2

国勢調査により作成。



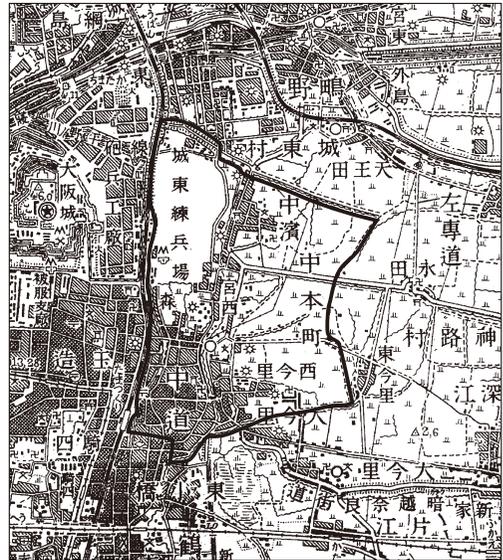
①



②



③



④

図中の太線は当該の町村界。
2枚の地形図をつなぎ合わせているものがある。

図 2

旧地理 B

問 3 次の写真 1 は、伝統的な景観を残すいくつかの都市・村落を撮影したものである。写真 1 中の A～D の都市・村落の形態や機能について説明した文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 15



A



B



C



D

写真 1

A は、オランダのアムステルダム近郊に立地する星型の濠^{ほり}で囲まれた都市である。① 周囲の濠は、多くの船舶を停泊させるためにつくられた。

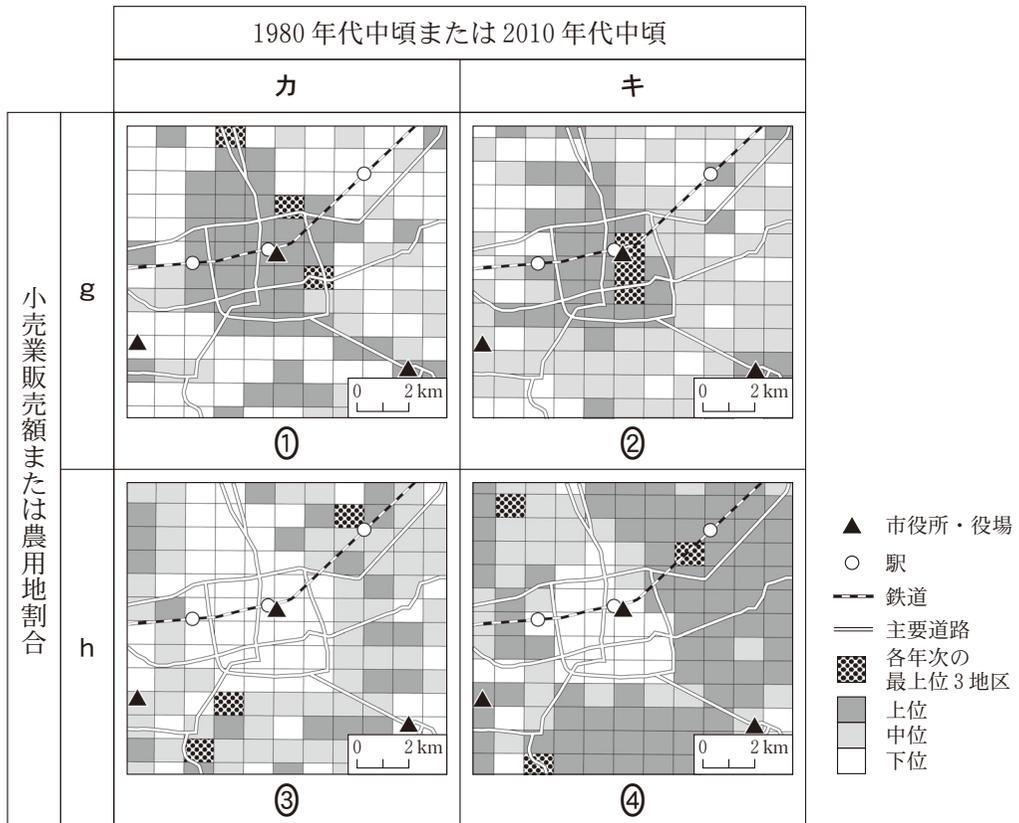
B は、ペルーのクスコの旧市街である。② 格子状の街路網がみられ、建物の様式はスペインの影響を強く受けている。

C は、中国南東部にある多数の世帯が住む円形や方形の家屋が建ち並ぶ村落である。③ 外側が厚い土壁で覆われており、建物ごとに防御機能を有する。

D は、北アフリカのマリの都市ジェネの旧市街である。④ 不規則な街路網をもつ旧市街には、日干しレンガや泥壁でつくられた建造物がみられる。

問 4 次の図3は、日本のある県庁所在都市*とその周辺の町におけるいくつかの指標をメッシュ単位で示したものである。図3中のカとキは1980年代中頃と2010年代中頃のいずれか、gとhは小売業販売額と農用地割合のいずれかである。1980年代中頃の小売業販売額に該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。 16

*2015年の人口は約24万人。

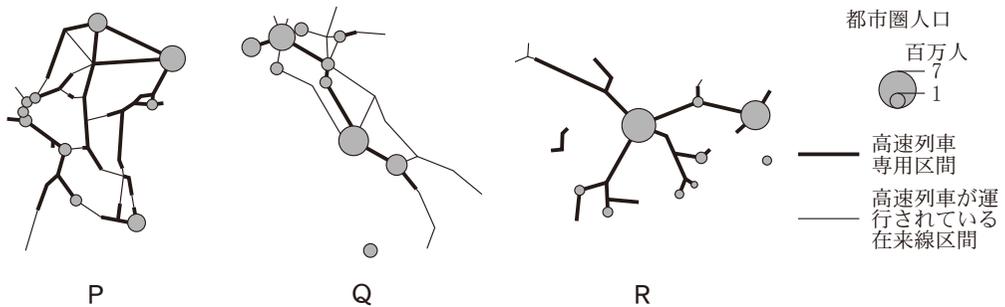


市役所・役場、駅、鉄道、主要道路はいずれも2000年時点のもの。
 各指標の区分は両年次とも同じ値。
 メッシュの設定は両年次で異なる。
 統計年次は、小売業販売額が1985年と2014年、農用地割合が1987年と2016年。
 国土数値情報などにより作成。

図 3

旧地理 B

問 5 ヨーロッパの国々では、幹線鉄道網から都市のつながりが見える。次の図 4 中の P～R は、イタリア、スペイン、ドイツのいずれかの国における都市の分布と、高速列車が運行されている路線網を模式的に示したものである。また、後の文章サ～スは、P～R のいずれかの政治・経済機能の分布の特徴について述べたものである。P～R とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 17



2020 年における人口上位 10 位までの都市圏を示す。一部の島嶼部とうしょの都市圏は示していない。各国の縮尺は異なる。European Rail Timetable, Summer 2023 などにより作成。

図 4

- サ 国内における経済的な地域格差が大きく、大都市は国土の北部に偏って分布している。
- シ 首都への政治・経済機能の集中がみられる一方で、独自の言語や文化をもつ地域にある人口規模 2 位の都市圏を中心とした経済圏もみられる。
- ス 分権的な性格をもつ国家であり、第二次世界大戦後の長い間、国土が分割されていた。このことが、政治・経済機能の分布に影響を与えている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 次の表2は、フランスにおける外国籍人口の変化を国籍*別に示したものであり、X～Zは、アルジェリア、イタリア、トルコのいずれかである。国籍とX～Zとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

18

*2019年における外国籍人口の上位5か国。

表 2

(単位：千人)

国 籍	1968年	1982年	1999年	2019年
ポルトガル	296	767	556	549
X	474	805	475	544
モロッコ	84	441	506	499
Y	8	122	206	217
Z	572	340	201	214

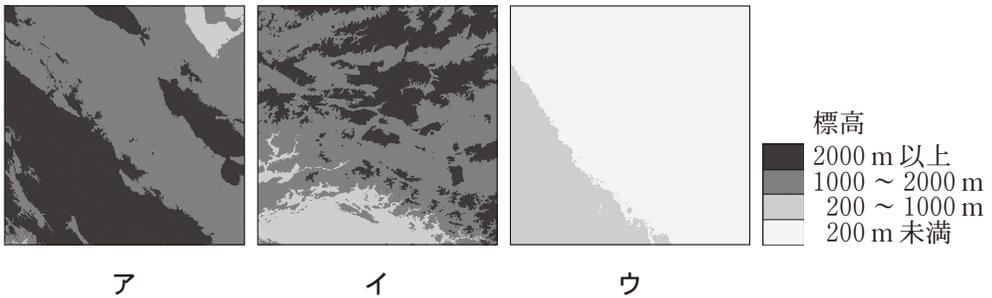
フランス国立統計経済研究所の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
アルジェリア	X	X	Y	Y	Z	Z
イタリア	Y	Z	X	Z	X	Y
トルコ	Z	Y	Z	X	Y	X

旧地理B

第4問 中央・西アジアに関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1中のア～ウは、後の図2中のA～Cのいずれかの範囲の地形を示したものである。ア～ウとA～Cとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 19



USGSの資料により作成。

図 1

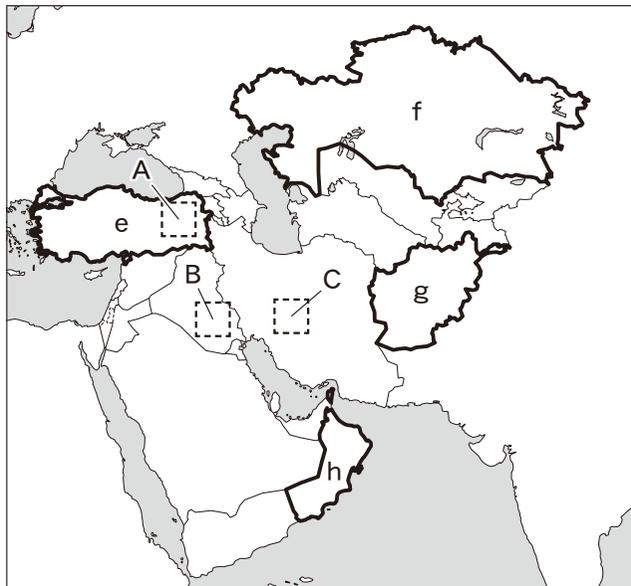


図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 2 次の表1は、図2中のe～hのいずれかの国における、国土面積に占める植生などの割合を示したものである。gに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 20

表 1

(単位：%)

	①	②	③	④
裸地 <small>らち</small> (砂や岩など)	95.8	41.1	6.1	0.4
低木・草地	2.7	42.0	65.7	24.3
針葉樹林	0.0	0.2	0.4	3.9
落葉広葉樹林	0.0	0.0	0.3	3.3
常緑広葉樹林	0.0	0.1	0.0	2.4
その他	1.5	16.6	27.5	65.7

その他には、農地や市街地などを含む。
 国土地理院の資料などにより作成。

旧地理 B

問 3 中央・西アジアでは、多様な食文化がみられる。次の図 3 は、中央・西アジアのいくつかの地域カ～クを示したものである。また、後の文章は、中央・西アジアの食文化について述べたものである。食文化について述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 21

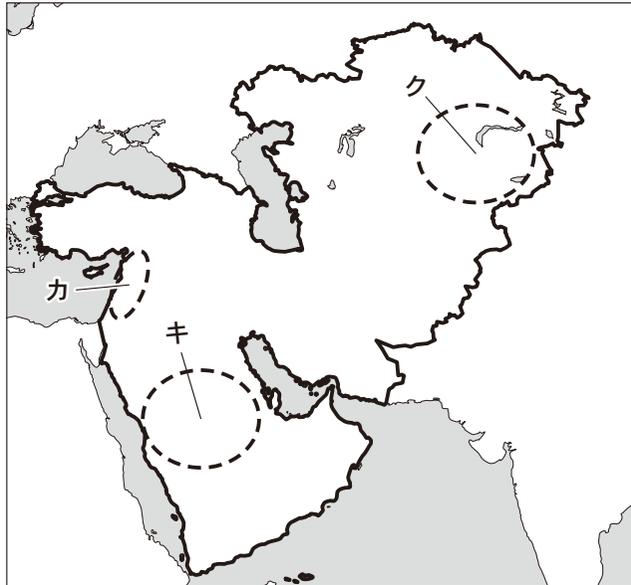


図 3

中央アジアと西アジアでは、いずれも①羊の肉や乳が、たんぱく源として広く食されている。また、西アジアで香辛料を用いた料理が広くみられるのは、②東南アジアや南アジアとの交易を通じて香辛料が^{でんぱ}伝播したためである。

一方、中央アジアと西アジアには、各地域で特徴的な食文化がみられる。カの周辺でみられるブドウやレモン、ニンニクなどを使用した料理は、③南ヨーロッパや北アフリカの食文化とも共通している。また、馬の乳を発酵させて作ったアルコールを含む飲料は、④クよりもキの地域で広く飲まれている。

問 4 次の表 2 は、西アジアのいくつかの国における 1 人当たり GDP とムスリム (イスラム教徒) の割合を示したものであり、サ～スは、イスラエル、イラン、サウジアラビアのいずれかである。また、後の文 E～G は、サ～スのいずれかにおける大都市について述べたものである。サ～スと E～G との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

表 2

	1 人当たり GDP (ドル)	ムスリムの割合 (%)
カタール	66,799	77.5
サ	54,111	17.0
シ	23,186	94.0
ス	6,766	98.2

統計年次は、1 人当たり GDP が 2021 年、ムスリムの割合が 2000～2010 年のいずれか。

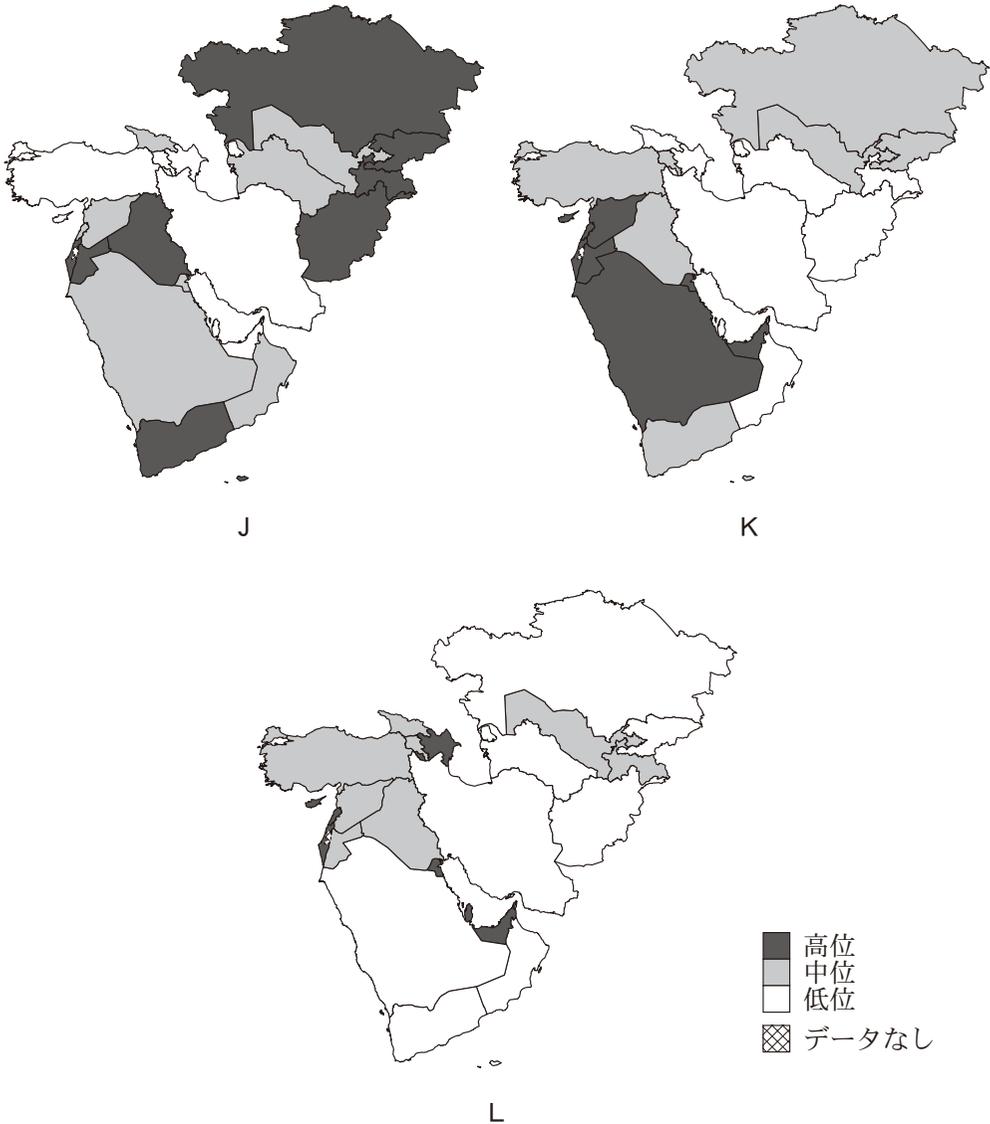
『世界国勢図会』などにより作成。

- E オアシスに立地したこの首都には、王宮のほか、広い道路に沿って近代的なホテルや商業施設、高級住宅が並んでいる。
- F この国が首都と宣言している都市の東側の旧市街には、多くの宗教的聖地が存在し、歴史上長らく民族紛争の争点となってきた。
- G 山の麓ふもとに立地するこの都市は、18 世紀に首都となり、旧市街にあるバザールは同国の商業の中心となっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	E	E	F	F	G	G
シ	F	G	E	G	E	F
ス	G	F	G	E	F	E

旧地理 B

問 5 中央・西アジアでは、人口や経済の状況に地域差がみられる。次の図 4 中の J～L は、中央・西アジアにおける合計特殊出生率、人口密度、第三次産業従事者割合のいずれかの指標を国別に示したものである。指標と J～L との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 23



統計年次は 2019 年。World Development Indicators により作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
合計特殊出生率	J	J	K	K	L	L
人口密度	K	L	J	L	J	K
第三次産業従事者割合	L	K	L	J	K	J

問 6 次の表 3 は、中央・西アジアのいくつかの国における、日本またはロシアとの輸出入額を示したものであり、XとYは日本とロシアのいずれか、タとチはウズベキスタンとトルコのいずれかである。日本とトルコとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 24

表 3

(単位：百万ドル)

	X		Y	
	Xへの輸出額	Xからの輸入額	Yへの輸出額	Yからの輸入額
サウジアラビア	26,671	5,110	131	1,398
タ	503	2,515	4,152	21,120
アゼルバイジャン	90	64	732	2,315
チ	14	187	1,780	3,911

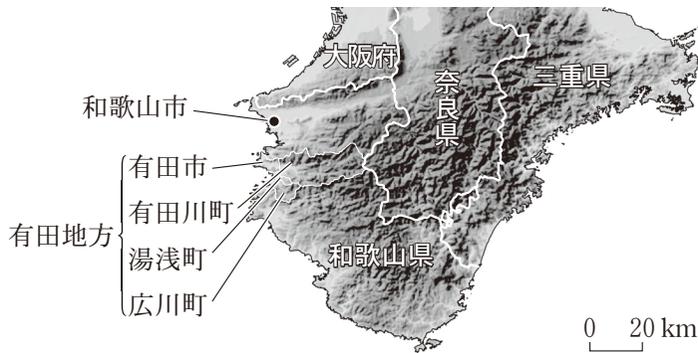
統計年次は 2019 年。Directions of Trade Statistics により作成。

	①	②	③	④
日 本	X	X	Y	Y
トルコ	タ	チ	タ	チ

旧地理 B

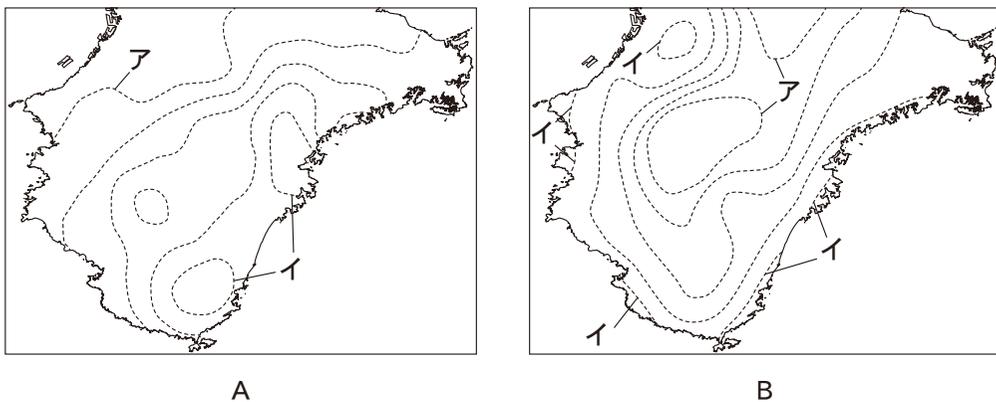
第 5 問 千葉県の高校に通うユウキさんたちは、和歌山県^{ありだ}有田地方^{ありだ}（有田市^{ありだ}、有田川町^{ありだ}、湯浅町^{ありだ}、広川町^{ありだ}）の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い（問 1～6）に答えよ。（配点 20）

問 1 ユウキさんたちは、紀伊半島^{きい}の自然環境に関する資料を入手した。次の図 1 は陰影をつけて地形の起伏を表現したものであり、後の図 2 は気候について示したものである。図 2 中の A と B は、年降水量と年平均気温のいずれかを等値線で示したものであり、アとイは、A と B の指標について大きい値と小さい値のいずれかを示したものである。年降水量の図と大きい値との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25



国土数値情報などにより作成。

図 1



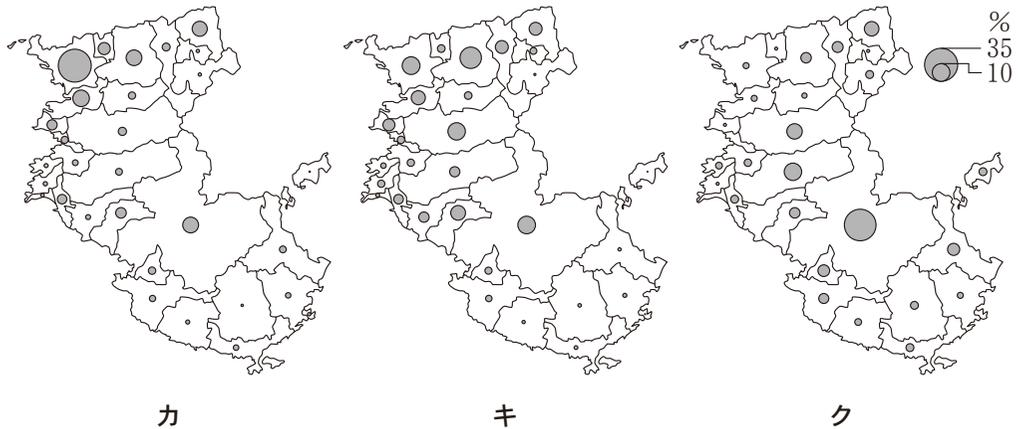
等値線の間隔は年降水量が 500 mm、年平均気温が 1℃。気象庁の資料により作成。

図 2

	①	②	③	④
年降水量の図	A	A	B	B
大きい値	ア	イ	ア	イ

問 2 ユウキさんたちは、和歌山県の産業が自然環境などの影響を受けていることに注目した。次の図 3 は、いくつかの産業について事業所数や経営体数が県全体に占める割合を市町村別に示したものであり、カ～クは、製造業事業所、農業経営体、林業経営体のいずれかである。項目名とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

26



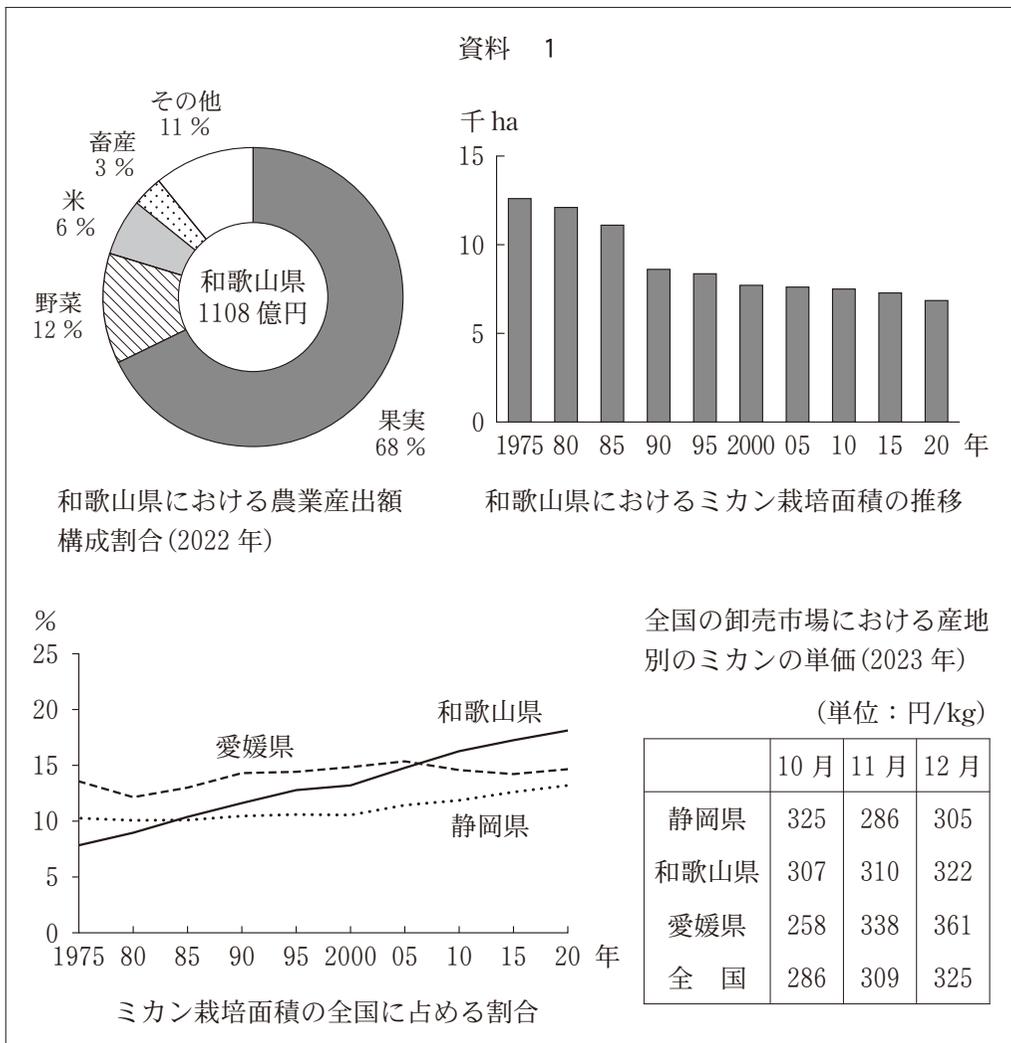
データなしの市町村の値は示していない。
統計年次は 2020 年。和歌山県の資料により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
製造業事業所	カ	カ	キ	キ	ク	ク
農業経営体	キ	ク	カ	ク	カ	キ
林業経営体	ク	キ	ク	カ	キ	カ

旧地理 B

問 3 ユウキさんたちは、有田地方のミカン(温州ミカン)栽培に興味をもち、現地で役所の職員への聞き取り調査を行った。次の資料1は、ユウキさんたちが事前に和歌山県のミカン栽培について調べたものであり、後の写真1は、現地の様子を撮影したものである。ユウキさんたちと職員との会話文中の下線部①~④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 27



農林水産省の資料などにより作成。



樹園地の様子



選果場の様子

写真 1

職員 「和歌山県は、気候が温暖であり、ミカンやウメの栽培が盛んです。特に有田地方は、県内最大のミカンの生産地です」

ユウキ 「①和歌山県の農業産出額のうち、果実は約3分の2を占めていて、全国に比べてその割合が高いのですね」

職員 「1970～1980年代はミカンの生産を減らす政策がとられたため、和歌山県だけでなく全国的にミカンの栽培面積は減少しました」

ミサキ 「②和歌山県では、ミカン栽培面積の全国に占める割合が1975年に比べて2020年は2倍以上になり、相対的にミカン産地としての比重が増したのですね」

職員 「写真1のように、樹園地の地面に敷かれているマルチシートは、土中の水分を調整しミカンを甘くするはたらきがあります。また、収穫したすべてのミカンの糖度を光センサーで測れるようになりました」

ダイチ 「③生産や選果の技術を向上させたことにより、品質が一定に保たれるようになったのですね」

職員 「農業協同組合により『有田みかん』は商標登録され、主に京阪神や東京方面へ出荷されていますが、昔から農業協同組合以外の販路で出荷する農家もあり、販売方法は多様です」

チナミ 「地域ブランド化することにより、④和歌山県産ミカンは、市場でいずれの産地よりも高値で取引されているのですね」

旧地理 B

問 4 ユウキさんたちは、津波災害の伝承で有名な広川町を訪れ、自然災害とその備えについて現地調査を行った。次の図 4 は、広川町とその周辺の地理院地図であり、後の資料 2 中のサ～スは、図 4 中の地点 J～L のいずれかで撮影した建造物の写真とユウキさんたちが書いたメモである。J～L とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 28



地理院地図により作成。

図 4

資料 2

サ



江戸時代の津波襲来時に、避難先となった神社。津波が夕方に襲来したが、稲わらに火をつけて周辺を照らし、多くの命が救われた。神社の一角には、その偉業を後世に伝える石碑がある。

シ



町の中心地を津波から守る堤防。江戸時代の津波襲来後に、将来の津波に備えるため、この地の出身の豪商により築かれた。付近には、堤防の建設に対する感謝を記した石碑がある。

ス



災害時に住民を守る避難タワー。津波だけでなく洪水が発生した時にも活用されることが想定されている。この施設の周辺には農地が広がり、緊急時に施設へたどり着けるように案内表示板がある。

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	サ	サ	シ	シ	ス	ス
K	シ	ス	サ	ス	サ	シ
L	ス	シ	ス	サ	シ	サ

旧地理 B

問 5 次にユウキさんたちは、湯浅町を訪れて町並みを調べた。次の資料 3 は、湯浅町の市街地の様子をまとめたものである。また、後の文章タ～ツは、資料 3 中の範囲 P～R の様子について述べたものである。P～R とタ～ツとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

29



地理院地図により作成。

タ かつてにぎわった中心地を通る道が、南北に伸びている。町内初の小学校として使われた施設がある。

チ 東西に伸びる細い道は、かつての砂浜へ出る利便性を考えて造られた。近くには、醤油などを積み出していた堀がある。

ツ 他の二つの範囲に比べて幅の広い道が多く、建物の密集度は低い。3階建て以上の建物もみられる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
Q	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
R	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

問 6 ユウキさんたちは、有田地方と房総半島南部には共通した地域の特性とともに課題があることに気づいた。次の表1は、ユウキさんたちがまとめた二つの地域に共通する地域の特性や課題と、それらをふまえた地域活性化に関する案である。地域の特性をいかして地域を活性化させる案として下線部が**適当でない**ものを、①～④のうちから一つ選べ。 30

表 1

共通する地域の特性や課題	地域活性化に関する案
海沿いにある平地は狭く、山が海岸にせまっている	日当たりの良い山の斜面をいかして、 <u>①新たに棚田を造成し、国内の需要に対応したブランド米を生産する。</u>
沖合は漁場に恵まれており、水産資源が豊富である	水揚げされた水産物を販売するだけでなく、 <u>②水産物の特産品を新たに開発し、加工と販売を行い収益を上げる。</u>
近年、海岸沿いに高速道路が整備されている	大都市との行き来が便利になり、日帰り観光客が増加しているので、 <u>③新たに滞在型の観光プログラムを整備し、宿泊客の増加を図る。</u>
大都市から大きく離れていないが、通勤圏から外れている	豊かな自然環境の中で暮らし、就業できるようにするため、 <u>④新たにテレワークに適した施設を整備し、他地域からの移住を促す。</u>